

児童発達支援事業所における自己評価結果（公表）

公表:令和5年3月13日

事業所名 こどもくらぶキジムナー

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	8		運動教室はスペースが狭いためベランダや体育館を利用し工夫している。	今後もプログラム内容によって、部屋を分けるなど安全に楽しめるように工夫しながら対応しています。
	2 職員の配置数は適切である	7	1	職員配置は適切であり、また業務の役割分担ができており業務改善に繋がっている。	今後も適切な職員配置をしながら今後も療育支援を提供してまいります。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	6		記入なし⇒2名	玄関、階段あるためにバリアフリーは難しい状況ですが、室内はバリアフリーとなっています。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	8		こまめに清掃を行っている。	今後も清潔な環境維持していくように整理整頓、清掃などに努めていきます。
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	7	1	問題や不便さを感じたらその都度話し合い改善をしています。記入なし1名	今後も問題や不便さを感じたらその都度話し合いをして改善していきます。
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	7	1	職員へHPへ掲載したことを周知し、また職員会議の「場」で共有して、保護者様の意向などを把握し、業務改善につなげております。	今後もそのような取り組みを継続していきます。
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6	1	これまでも継続してホームページに掲載しておりますが、今回の評価も掲載して公開していきます。	
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	4	1	記入なし⇒3名	事業所によって第三者委員を配置して業務改善に繋がっていきたく思います。
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	8		・必要な研修に加え希望者は外部研修を受けている。今後は事業所内研修などで更に資質向上に繋げたい。	できる限り研修を平等に受ける機会を作りたいと考えております。
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	8		・事業所内では児童発達支援管理責任者と職員との児童の様子や細かな変化について話し合いの機会を多く持っている。	
	11 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5	3	専門書やインターネットの新しい情報を取り入れるように努めています。	職員間でしっかりと内容を把握し、支援へと繋がれるようにしていきたいと思えます。
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」「家族支援」「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	8		計画書を立てる際だけでなく普段からガイドラインの3本柱を念頭に支援を行っています。今後も全職員の視点を交えながら支援の幅を広げられるように取り組んで参りたいと思えます。	
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	8		・記録の時に計画書を意識して支援を行っている。	
	14 活動プログラムの立案をチームで行っている	8		チームで活動プログラムを決めるように心がけております。	
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	8		専門講師を招いたりしてプログラムを工夫しております。	
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	8		集団活動を主としながらも個人のペースを大事にして進めていけるよう計画している。	
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	8		リーダー職員が中心となり、打ち合わせをして確認しております。	
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点を共有している	7	1	・緊急性がある際には行うようにしていますが、普段は支援終了後に残っている職員間で振り返りしたり、グループLINEにて翌日に振り返りをしております。	支援終了後は送迎などがあり、職員全員が集まる時間がなかなか持てないため、申し送りノートやLINEにて行っていますが、ミーティング内容の情報をより良い方法はないか？今後も検討して参ります。
	19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	8		・職員それぞれの視点を大事に記録し、話し合いを行うための時間を作っております。	
20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	8		職員会議や日々のミーティングの中で個別の支援会議をその都度行うようにしていますし、職員一人ひとりの対応方法や視点を共有しています。		
21 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	8		全職員の意見をまとめて、ふさわしい職員が参画しています。		
22 母子保健や子ども、子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	5		・記入なし⇒3名		

関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	1		・現在は医療ケアの利用者該当なし ・記入なし⇒7名	
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	1		・現在は医療ケアの利用者該当なし ・記入なし⇒7名	
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	8		・モニタリング等で共有し、職員間で再度共有して理解を図っている。	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	7	1	・モニタリング等で共有し、持ち帰り職員間で再度共有している。	日頃より移行支援を意識して療育に努めており、児発管を中心に会議の場へと参加させて貰い連携をとっておりますが、全職員で把握に努めて参ります。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	2	6	研修内容などを確認して、専門性の向上を図るために交代して研修を受講しております。	コロナ禍もあったためzoomや研修参加人数が制限されていた事もあり一部の職員しか受ける事が出来なかったため今後は交替で参加させていきたいと思っております。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	2	6	・ここ数年コロナで出来ていないために、落ち着いてきているので、連携のお話をしていきたいです。	コロナが落ち着いてきているので、交流する機会を考えていきたいと思っております。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども子育て会議等へ積極的に参加している	3	5	コロナが落ち着いてきているので、地域の会議に参加しています。	今後も参加していきます。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	8		・送迎時やLINE等でやっている。	
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	6	2	対応力向上を図るために保護者様のお話をよく聞いて、事業所での成功事例や、研修のご案内をしています。	普段の業務の中で研修参加を促せるような仕組みをしっかりと築きたいと思っております。
	保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	8		利用をする前に丁寧に説明させて頂き、不明な点に關してもその都度迅速に対応するように心がけております。
33		児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	8			ガイドラインのねらい及び支援内容の再確認をするために職員研修計画を考えていきます。
34		定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	8		いつでも相談が受けられることができるように体制を整えています。	
35		父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	1	7	・コロナでできていません。	コロナ禍で保護者会をすることができませんでしたが、落ち着いた際に保護者会を開催していきたいと考えています。
36		子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	8		送迎時や電話などで、保護者様の小さな思いなどを傾聴し、迅速に助言を行うようにしています。	
37		定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	8		・利用予定表をととして発信。行事や活動の様子はLINEにて発信している。	
38		個人情報の取扱いに十分注意している	8		外部講師を呼んで事業所内研修を実施しています。	
39		障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	8		その子の特性を理解して接するように努めています。	
40		事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	1	7	コロナ禍によって地域住民を招待することはできませんでしたが、地域との関わり方も大切に(こどもたちも)している為、また知ってもらうために役所の方へ作品を飾るなどを行っています。	コロナ前は近隣の小学校からのオファーで事業の内容説明をさせて頂く事がありましたが今後も自発的に発信＆関わっていくように努めて参ります。
非常時等の対応		41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	8		
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	8		火災訓練などに取り組みました。今後も継続して取り組んでいきます。	今後も継続して、多様な防災訓練に取り組んでいきます。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認している	8		見学の際にこれまでの発病歴、細かな部分を聞き取り、事業所でも対応できるのか、しっかりと検討して受け入れを行っている。必要に応じて、保護者様を通じて医師の見解などもお聞きして、大切なお子様の命を預かることを念頭に置いて検討を重ねて受け入れしている。	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	8		医師の指示書を受け取ることには至っていないが、保護者様へ確認し、こまめに情報共有を図っている。	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	8		小さなヒヤリでも作成して共有しております。振り返る機会を持てるようにしています。	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	8		外部研修へ参加することはもちろんのこと、内部研修も行っていきます。	

47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	8	身体拘束を必要とする児童はいないために組織として全職員が周知するに至っていない状況があります。そのため、今後は研修等をおして周知していきたいと考えております。	身体拘束を必要とする児童はいないために組織として全職員が周知するに至っていない状況があります。そのため、今後は研修等をおして全職員が共有できるように考えていきます。
----	--	---	---	--

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。